

連休では少しは休息が出来たでしょうか。
原発は、一進一退のようで、まだ安心できません。

NRI 伊藤様から次の情報をいただき、共有します。

● 夏場の電力事情で外資金融関西に移動

外資金融系の方々は、夏場の電力事情を懸念し、関西地区に業務拠点を移す動きが急です。東京都心も、今のところ何とか計画停電の対象から外れていますが、夏場の需要を考えると、明らかに現在の枠組みが維持されるとは思えません。

* 上田補足: 2003年夏の東電停電騒動では、需要は6500万KW前後ではらはらしていました。現状では4200万KWまで供給できると報道されています。金融以外でも外資企業は都内の機能を関西への移転を検討しているか、すでに実行しています。ただ、社員全員を移転出来ないのが悩みのようです。

● 停電時の留意点

都心の一般オフィスでも、考慮しておくべき事項について、思いつくままに書いてみました。

1 停電時のセキュリティ扉について: 停電時セキュリティ扉をどのようにするかは、設定で変わります。自動的に開放状態となるもの、施錠状態となり、手動で鍵を解除する必要があるもの、夫々です。一般の方には、万一停電となった時、扉がどのような状態になるのか、また、どうすれば、入室または退出出来るのかについて、説明しておく必要があります。また、最終退出者が、施錠をするような場合でも、停電時は、どのようにするべきかについては、予め決定し、周知しておく必要があります。

2 エレベータについて: 停電時、エレベータがどのようになるのかについては、ビル管理会社と事前に確認しておくべきと考えます。事前にアナウンスし、全てのエレベータを1階などに停止するのであれば閉じ込めの心配はありませんが、念のため、ビル管理会社と停電対策について確認の上、皆さんに周知しておくべきと考えます。また、万一、突然の停電のため、エレベータに閉じ込められた場合の、対応方法や、エレベータが使用出来ない場合の、ビル退去方法(非常階段の使用)、退去順序の決定(一斉に非常階段に殺到しないため)、またハンデキャップを持つ方の退去方法などについても、検討しておくべきと考えます。

3 計画停電の実施確認: 計画停電の対象となっても、停電実施の有無は、電力の使用況を見て、東電が10-20分前に範囲を決定しているようです。個社に通知されることはないので、ビル管理会社に、東電と綿密な情報交換をするよう要請し、確定したら、ビル内一斉放送をするといった手順を確立しておくべきと思います。本当に直前ですが、突然停電して混乱するよりは、少しでも対応する時間が確保出来ます。

4 PCのシャットダウンについて: ティスクトップPCは、停電の瞬間に停止します。このため、作業中のファイルが蒸発したり、PCが異常終了して立ち上げ時エラーとなったり、稀に障害となることも想定されます。ビル管理会社から周知がされないようであれば、予定時間前に一旦ファイルを閉じる、保存する、シャットダウンする・・・など、各自に最悪の事態を回避するよう、予め周知しておくべきと考えます。

* 上田追記:ラップトップ PC は電源につないで使用していても、停電時は本体の充電式バッテリーで駆動しますが、周りの照明等が消えたら念のために、すぐにファイルの保存をしておくとい良いでしょう。なおバッテリーでも数時間しか駆動できない可能性があり、一度説明書で確認しておくとい安心です。

5 計画停電時の勤務体制について: 計画停電の時間によっては、早期に帰宅を促す、出社時間をずらしてもらう、ビル内または周辺で待機してもらう、いろいろなパターンが想定されます。会社として、計画停電に対応した勤務・出社・退社の方針について、予め整理しておくべきと考えます。また、早期帰宅または時差通勤の場合の、勤務時間の扱いについても、予め方針を決定し、周知しておくべきと考えます。但し、計画停電が実際に実施されるかどうかは、直前にならないと判らないため、出社時間をずらしたものの、停電が無かったといったリスクが残ることが悩ましいところではあります。

6 社内電話について: 停電に伴い、社内交換機に接続した電話機が使用出来なくなる可能性があります。(PBXにバッテリーを積むことができますが、0.5-2時間程度が一般的です) 機械室全体を大容量の無停電装置などで、カバーしていない限り、回線設備が停電の影響を受けるので、外部との接続が出来なくなります。このような状況では、停電を想定して、特別に対策を講じた端末または、NTT と直結した、単機能電話端末だけが使用可能です)停電の時に利用出来る電話機の確認や、停電時電話機がどこにあるのか、また社内電話機がどのような状況になるかについては、PBX 業者と確認の上、予め周知しておくべきと考えます。

* 上田追記:IP 電話(050 だったのですが、最近では昔の番号でも OK のようですが)の場合は、停電では利用できないはずではあります。

総務省の 停電時の固定電話サービスの利用について より

○ 停電の際には、固定電話サービスについて、商用電源を使用しない電話機などを利用してアナログ電話を利用している場合を除き、基本的にご利用できなくなりますので、ご注意ください(停電対応の電話機を使用されたり、利用者で独自の電源をご用意されたりしている場合には、ご利用できることもあります。)

なお、給電再開後に通信できない場合には、通信機器の電源の抜き差しをして、お試しください。

- ・ ご利用できる可能性があるもの
 - － 公衆電話
 - － アナログ電話(商用電源を使用しない電話機でご利用の場合)
- ・ ご利用できないもの
 - － 光回線を使用した電話
 - － ADSL 回線を使用した電話
 - － CATV 回線を使用した電話
 - － ISDN
 - － アナログ電話(商用電源を使用する電話機でご利用の場合)

既に停電を経験された地区の方であれば、何を今更・・・ということかも知れませんが・・・

引き続き和田先生から、ヒント集をいただきました。ファイルを添付しています。

● 津波・地震において自分、家族、同僚、地域の健康を守るヒント集

<http://kojiwada.blogspot.com/2011/03/3211.html>

詳細は、上記サイトを参照ください。

(別ファイル 被災地で自分、同僚などの健康を守るヒント集より抜粋 参照)

● 放射線観測(追加)

首相官邸 放射線モニタリングデータ

<http://www.kantei.go.jp.cache.yimg.jp/saigai/monitoring/index.html>

図のモニタリング結果は更新が遅いのですが。